

# 家庭教育力の強化を図ろう

～ お互いを大切にしたコミュニケーション ～

岡崎市立藤川小学校 P T A

## 1 学区及び学校の概要

本校は、児童数311名。かつて芭蕉が旅して東海道に思いを馳せて詠んだ句「ここも三河 むらさき麦の かきつばた」の句碑が残る宿場町・藤川として歴史ある学区であり、それを大切に守っている地域である。児童は、「むらさき麦づくり」「宿場町藤川のガイド」「藤川宿散策(探検)」など、「藤川まちづくり協議会」の方からふるさと藤川について学ばせていただいている。

## 2 研究のねらい

本校の児童は、気持ちが優しく、友達に思いやりのある心を寄せる反面、自分の思いを表現することが得意でなく、些細なことに傷ついたり、相手を傷つけたりしてしまうことがある。また、地域の方と温かい雰囲気の中で交流を重ねる中では、地域の方からの教えを素直に聞き活動できる反面、交流活動ではないところで、感謝の気持ちを積極的に伝えることにやや控えめになってしまうところがある。優しい気持ちや感謝する思いを物おじせず表に出せるようになると、よりコミュニケーションを深めることができるだろう。そこで、学校と家庭や地域が連携して、相手の気持ちを理解し自分の思いを的確に表現することができる児童の育成に努めていきたいと考えた。

## 3 研究の仮説

継続的に気持ちの良い挨拶の仕方や他者との関わり方についてのソーシャルスキルを学んだり、学校・家庭・地域で人と触れ合ったりする機会を多く設定することで、人との関わり合いによって優しさを感じると共に、コミュニケーション能力を育むことができるものとし、研究した。

## 4 研究の実践

### (1) ソーシャルスキルの向上

学校では、気持ちの良い挨拶の仕方や友達づくりなどについて学ぶことができるように、朝タイムの15分程度の時間で行うロールプレイングを通して、どのような挨拶や言葉かけをするとよいかを考えることができるようにした。

また、コグトレや構成的グループエンカウンターを通して、友達とより良い人間関係を築くことができるよう、包括的なソーシャルスキルの向上を図った。



【学校保健委員会で褒め上げ大会】

さらに、学校とP T A保体委員会が連携して行う学校保健委員会では、事前に「行動を振り返るアンケート」をとり、アンケート結果を学校保健委員会で発表することで、他の児童の思いを知り、共感したり、問題意識をもったりすることができるようにした。アンケートでは、「誰にでも挨拶をしている」「相手に何かしてもらったときにお礼を言っている」「話を聞くとき、話している人を見て聞いている」と考える児童が80%以上だった。

学校保健委員会での①傾聴トレーニング、②ロールプレイング、③褒め上げ大会を通して、相手の話をしっかり聞いたり、相手を思いやって言葉掛けをしたりすることの大切さを知り、自己肯定感を高め、自信をもって学校生活を送ることができる環境整備に努めた。

## （２）親子のコミュニケーション

親子のコミュニケーションを増やせるよう、6月には「おくちぴかぴか大作戦」、夏休みには「夏休み元気いっぱいチャレンジ」に親子で取り組むことを、PTA 保体委員会と学校が連携して呼び掛けた。

「おくちぴかぴか大作戦」では、『わたしはつい強い力でみがいてしまうので軽い力でみがくといいとお母さんに教えてもらいました』とA児。『歯ぐきと歯の間あたりに汚れが残っていることが多いので、子供とともに注意していきたいと思いました』とA児の保護者。親子が互いの歯みがきについて意識する機会となったことがうかがえた。親子で一緒に取り組む歯みがきを促したことで親子の会話を一つ増やすことができた。

「夏休み元気いっぱいチャレンジ」は、『親子でチャレンジしたことで意識して生活することができた』とB児の保護者。親子で目標を定めてチャレンジすることで、児童は自分で時間を意識できるようになり、保護者も声を荒立てなくてよくなったようだった。「チャレンジカード」への記入時に普段とは違った親子の触れ合いの場を促すことができた。

## （３）地域とのコミュニケーション

児童は、地域の「藤川まちづくり協議会」の方から藤川の町の歴史や文化などを教えていただいている。5年生は、田植えから稲刈りまでの米作り、6年生は、麦まきから麦刈りまでのむらさき麦づくりや、宿場町藤川について学び、紹介する宿場町藤川のガイド役を体験している。

児童は、地域の方から藤川の町について話を聞いたり、指導を受けながら体験したりすることで、地域の方の地域に対する熱い思いを感じ取り、技を伝授してもらっただけでなく、地域の方への尊敬と感謝の気持ちをもつようになった。さらに、少しずつではあるが、その気持ちを地域の方に素直に伝えたり、物おじせずに挨拶をしたりできるようになった。



【お家で  
おくちぴかぴか大作戦】



【地域の方から  
むらさき麦について学ぶ】

## 5 成果と今後の課題

学校保健委員会での活動を通し、①傾聴トレーニングでは、相手の話をしっかり聞くことで安心して話せるようになること、②ロールプレイングでは、相手が望んでいることに寄り添うことで信頼関係が強くなること、③褒め上げ大会では、友達から認められると、今まで気付かなかった自分のよさを知ることができ自信につながったことなど、多くの成果を得た。相手の考えを受け入れたり、思いを酌んだりすることで、友達とより良い関係を築いていこうという気持ちが高まった児童が多く見られた。

親子で互いの健康について気遣い相手を思いやりながらとるコミュニケーションや地域の伝統や文化を守ると同じ思いをもち活動しながらとるコミュニケーションを通して、相手の気持ちを理解し自分の思いを的確に表現することができる児童の増加が実感でき、学校と家庭や地域が連携した取り組みは、効果が高く得られることを改めて確認することができた。

今後も継続して、このような活動を学校とともに支援していきたい。